



ラ・ニジンスカ  
～女性振付家の先駆者～

La Nijinska  
～ The pioneer of Woman Choreographer ～

vol.30

2011/6/15 (Wed.)～2011/7/10 (Sun.)

出展リスト (作品・資料名/分類/年代/ほか)

◆ニジンスカ・ファンが手を加えたバレエ・リュス公式プログラム、  
ゲテ・リリック劇場 (プログラム[PR-BROF-44] / フランス / 1923年)  
Official programme of BALLETS RUSSES DE SERGE DE DIAGHILEW, which  
reorganized by unknown Nijinska fan, GAITE LIRIQUE / 1923 / 31.8×24.5cm, 24p  
(Originally the cover design was Picasso' de design but it changed to photograph of  
"Les Noces" choreographed by Nijinska) (PR-BROF-44)

◆「巡業、あるいはスポーツとバレエ・レビューの巡業」  
(写真[PH-439] / クロード・ハリス、英国 / 1925年頃)  
Photograph of a scene from "Touring or The Sports and Touring Ballet Review"  
(Danced by Polish Ballet) / Claude Harris, England / c.a.1925 / 15.5×19.2cm (PH-439)

◆「聖なるエチュード」  
(写真[PH-476] / クロード・ハリス、英国 / 1925年頃)  
Photograph of a scene from "The Holly Etudes" (Danced by Polish Ballet) / Claude Harris,  
England / c.a.1925 / 15.3×19.5cm (PH-476)

◆「クラコフの伝説」を振付指導するブロンスラワ・ニジンスカ  
(写真[PH-452] / スタジオ・リブニツキー、フランス / 1937年)  
A scene Nijinska, Bronislava choreographed "La Legende de Cracovie"  
Studio Lipnitski, France / 1937 / 20.7×17.4cm (PH-452)

Kenji Usui Ballet Collection

ラ・ニジンスカ  
～女性振付家の先駆者～

vol.30

2011/6/15 (Wed.)～2011/7/10 (Sun.)

バレエ・リュス唯一の女性振付家として活躍し、『牝鹿』『結婚』『青列車』といった歴史的な作品を振付けた。バレエ・リュス以外でも広く活躍し、イダ・ルビンシュテインの一座では『ボレロ』を振付けている。世界初演の『ボレロ』だが忘れられている。

『牧神の午後』振付の際に兄ニジンスキーと共にスタジオに入るなど振付には早くから関わっていた。その独自のモダンでスタイリッシュな振付は今も上演される『牝鹿』『結婚』『青列車』などからも見て取れる。

◆ブロンスラワ・ニジンスカ / Nijinska, Bronislava  
1891年1月8日ミンスク生まれ、1972年2月21日カリフォルニア没  
ダンサー、振付家、バレエ・ミストレス、バレエ教師

1900年から1908年までロシア帝室バレエ学校でチェケッティに師事し、卒業と同時にバレエ団に入団。1909年から兄ニジンスキーと共にバレエ・リュスに参加。入団、退団共に兄と行動を共にする。『カルナヴァル』『ペトルーシュカ』などを初演。第一次世界大戦中はロシアに戻り、1915年にベトログラードでの私設バレエ・オペラ劇場で初の振付作品を発表。1916年にキエフに移りオペラ・ハウスで踊ると同時に教師を務めた。この時の生徒の一人がセルジュ・リファールである。1921年にロシアを去り、再びバレエ・リュスに参加。『眠れる森の美女』全幕上演の振付を手掛ける。その後、中心的振付家として活躍。セルジュ・ディアギレフが選んだ唯一の女性振付家であり、その才能に深い信頼を寄せていただけでなく、結婚式で父親役を務めるほど可愛がっていた。バラシンの重用などもあり、1925年にバレエ・リュスを離れ自らが率いる一座を結成して欧州各地を巡演、一方で振付家として招かれてオペラ・ハウスで作品を上演。1932年にバレエ・ニジンスカを結成。1937年に"ポリッシュ・バレエ"の芸術監督になり、『クラコフの伝説』『ショパン・コンチェルト』などを上演したが、第二次世界大戦開戦により解散。1941年ロス・アンジェルズにバレエ学校を開校し、ここを拠点とした。映画出演やケヴァス侯のバレエ団との仕事も手がけている。英国ロイヤル・バレエ団の芸術監督フレドリック・アシュトンが1964年に彼女を招いて『牝鹿』、1966年に『結婚』を再演したことで再び注目を集めた。

次回予告

薄井憲二バレエ・コレクション Vol.31  
眠れる森の美女

～"Sleeping Beauty" or "Sleeping Princess"～

「チャイコフスキー三大バレエ」作品としても有名な『眠れる森の美女』は1890年にロシア帝室バレエ団に委嘱されて初演された作品です。以来様々な変容を遂げつつ語りつづけています。その最初の姿から変化しつづける『眠れる森の美女』をご紹介します。  
(期間：2011/7/13～2011/8/28 於：2階共通ロビー)

◎企画・監修  
芳賀直子(はが・なおこ) 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター  
Naoko Haga (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)